

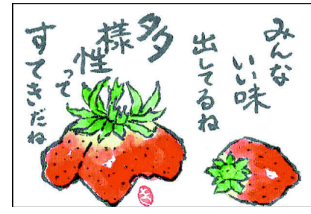
新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせてます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 ニュース ■3面 読者/まんが/俳句/詩 ■4面 筋力アップ/原発/メディア
- 5面 憲法講座/ホット ■6面 たんぱく質をとる/もう1品/母の歴史 ■7面 新婦人のページ/主張/自宅で介護



東京・千代田区 土屋喜代子(68)

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

万博は中止、被災地支援こそ



1月8日、新婦人も参加する第9弾「あかんやろ! カジノ女性パレード」。参加者は赤い色のものを身に着けて、「カジノも万博もいらない」「万博やめて被災地支援に税金回そう」などコールしながら歩いた(大阪市・御堂筋)

2025年4月開催にむけて、費用総額が膨らみ続けている大阪・関西万博。大阪府知事は能登半島地震に資材を優先するというものの、万博開催は別問題と開催に固執しています。その原因を考えるとともに、万博推進の維新の会とはどんな政党か、関西学院大学の富田宏治教授に聞きました(2面)。

膨れ上がる費用

万博の費用は国、大阪府・市、経済界が3分の1ずつ負担します。昨年12月、政府は費用の全体像の試算を公表しました(イラスト・2面グラフィック)。これらはまだまだ増える予想されています。

費用増加の要因は会場の夢洲に電気や上下水道、交通が整備されていないこと。夢洲は廃棄物

や建設残土、浚渫土砂で埋立てた人工島で、建築には軟弱地盤や土壌汚染の対策が必須です。

魅力ないイベント

万博の理念は「いのち輝く未来社会のデザイン」。海外パビリオンを自国で建設決定した国は32カ国のみ。資材や人件費の高騰、人手不足で業者が決まらず、建設タイプの変更や参加辞退も出ています。

なぜ夢洲なのか?

万博協会は建設工事を急ぐため、労働者の残業規制の適用外を申請、「なにが命輝くか」と声があがっています。国内の民間企業パビリオンは、人材派遣のパソナグループや芸能プロダクションの吉本興業など、維新の会と親密な企業が名を連ねます。万博のシンボルにと1周2キロの木製「リング」を約350億円で建設中ですが、終了後撤去で「無駄使い」との批判がやみません。

(※) 松井氏は著書『政治家の喧嘩力』で、「総理にお酒を注ぎながら、一生懸命、持論を展開した」「安倍総理は、『それは挑戦しがいのある課題だよ』とおっしゃって、隣の菅官房長官に、声をかけられた。『菅ちゃん、ちょっとまとめてよ』この一言で大阪万博が動き出した」と記述している。



大阪・関西万博の主な費用

国・自治体・民間のインフラ整備費 約9.7兆円
※うち万博会場に直接関係するものは8390億円

万博に向けた行動計画事業「空飛ぶクルマ」実証実験など 約3.4兆円
会場内の運営費用 1160億円



目的はカジノのためのインフラ整備

万博協会は建設工事を急ぐため、労働者の残業規制の適用外を申請、「なにが命輝くか」と声があがっています。

国内の民間企業パビリオンは、人材派遣のパソナグループや芸能プロダクションの吉本興業など、維新の会と親密な企業が名を連ねます。

万博協会は建設工事を急ぐため、労働者の残業規制の適用外を申請、「なにが命輝くか」と声があがっています。

反対が多数。運営費の大半は入場料収入なのに、「万博チケットを購入したいと思わない」は79%(毎日)にのびります。いま国がすべきは、資金も資材も人材も最大限投入し、能登半島地震の被災地支援と復興です。巨額の税金投入とカジノへの道、大阪・関西万博を大阪はもとより、全国の問題として、みんなで中止の声をあげましょう。

